

パソノルム®L Pathonorm L

◇日立自動分析装置用

コレステスト®, クオリジェント®, ピュアオート®, クリニメイト®, オートセラ®による参考測定値

Batch No. 1004231 2011年1月

項 目	測 定 原 理	単 位	参考測定値
A L B	B C P 改良法 (ERM-DA470k/IFCC準拠)	g / dL	0.9 ± 0.2
	B C G 法 (アナセラム ALB・TP標準液使用)	g / dL	2.6 ± 0.2
	B C G 法 (ERM-DA470k/IFCC準拠)	g / dL	2.7 ± 0.2
A L P	J S C C 標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	233 ± 36
A M Y	6-N3G 5 C N P 基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	73 ± 6
	6-N3G 5 C N P 基質法 (実測K値)*	IU / L (37℃)	100 ± 8
	Gal-G2-CNP基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	82 ± 6
	Gal-G2-CNP基質法 (実測K値)*	IU / L (37℃)	76 ± 6
P - A M Y	抗体阻害法・Gal-G2-CNP基質法 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	82 ± 6
B I L	アゾビルリン法	mg / dL	1.2 ± 0.3
	アルカリアゾビルリン法	mg / dL	1.3 ± 0.3
	酵素法	mg / dL	1.6 ± 0.2
D - B I L	アゾビルリン法	mg / dL	0.9 ± 0.3
	アルカリアゾビルリン法	mg / dL	0.6 ± 0.3
	酵素法	mg / dL	0.1 ± 0.2
C A	O C P C 法	mg / dL	6.9 ± 0.3
C H E	3, 4-ジヒドロキシベンゾイルコリン基質法	IU / L (37℃)	Low
C H O	酵素法	mg / dL	110 ± 6
F - C H O	酵素法	mg / dL	22 ± 2
C K	J S C C 標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	68 ± 10
C R E	酵素法	mg / dL	1.1 ± 0.3
	ヤッフエ法	mg / dL	1.3 ± 0.3
F E	フェロジン発色法	μg / dL	110 ± 11
γ - G T	γ-グルタミル-CNA基質法: JSCC標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	30 ± 3
G L U	ヘキソキナーゼ法	mg / dL	34 ± 4
A S T	J S C C 標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	72 ± 5
A L T	J S C C 標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	27 ± 3
I P	フィスケサバロー変法	mg / dL	2.4 ± 0.3
L A P	G S C C 勧告法準拠試薬 (実測K値)	IU / L (37℃)	15 ± 2
L D	J S C C 標準化対応 (酵素キャリブレータープラス)	U / L (37℃)	63 ± 5
	S F B C 勧告法準拠試薬 (実測K値)	IU / L (37℃)	155 ± 12
M G	キシリジルブルー法	mg / dL	1.6 ± 0.2
N E F A	酵素法	μEq / L	300 ± 23
P L	酵素法	mg / dL	145 ± 11
T G	酵素法: 遊離グリセロール消去法 (グリセロール準拠)*	mg / dL	20 ± 3
	酵素法: 遊離グリセロール消去法 (JSCC勧告法準拠)	mg / dL	21 ± 3
T P	ビウレット法 (アナセラム ALB・TP標準液使用)	g / dL	5.2 ± 0.3
	ビウレット法 (セロノルム®ヒューマン, セロノルム®マルチキャリブレーター使用: AACC法準拠)	g / dL	5.4 ± 0.3
U A	酵素法	mg / dL	2.5 ± 0.2
U I B C	フェロジン発色法	μg / dL	169 ± 17
U N	酵素法: ウレアーゼ/GLDH法	mg / dL	8.0 ± 0.8
	酵素法: ウレアーゼ/LED・UV法	mg / dL	7.8 ± 0.8
胆 汁 酸	酵素法 (アクアオート カイノス TBA 試薬)	μmol / L	29.3 ± 2.9
	酵素法 (エンザバイル®・オート)	μmol / L	32.2 ± 3.2
N a	日立電解質自動分析装置	mmol / L	112 ± 5
K		mmol / L	2.1 ± 0.2
C l		mmol / L	79 ± 3

*海外のご使用施設への参考として記載しています。

測定法は弊社検査薬の基本操作に従っております。

J S C C 標準化対応試薬および J C C L S 標準化対応試薬は酵素キャリブレーターを検量物質に用いて測定しています。

その他の酵素活性測定用試薬でK Factor を用いて測定する項目については、検量係数 (実測K値) を求めて測定しています。

積水メディカル株式会社

東京都中央区日本橋三丁目13番5号

低異常域管理血清

パソノルム[®]L Pathonorm L

Batch No. 1004231

パソノルム[®]Lは安定性の高い凍結乾燥された管理血清で、患者血清の臨床化学分析低異常域用のコントロールとして特別に企画されたものです。

——特 長——

1. 冷暗所で長時間安定です。
2. 透析などの処理はしておりませんので微量元素、蛋白、ポリペプチド等を含んでおり、一般血清と同じ条件下で分析できます。
3. 異常域での \bar{X} -R管理の際のコントロール血清として最適です。
4. 容易に溶解し、澄明で濁りはありません。

——使 用 法——

1. バイアルのゴムキャップを静かにはずし、正確に精製水 5 mLを加えます。
2. ゴムキャップをして、泡立てないように混合し完全に溶解します。
3. 完全溶解後は一般血清と同様に扱います。

——安 定 性——

溶解後は、-20℃で凍結保存すれば各成分とも最低1ヵ月間安定です。

——保 存——

2～8℃保存

[取扱い上の注意]

本品は、HBs抗原陰性、HIV抗体陰性、HCV抗体陰性を確認した血清から調製されておりますが、ご使用の際は感染の危険のあるものとして、検体と同様に十分ご注意の上お取扱ください。

製造元  **SERO**

輸入元 **積水メディカル株式会社**
東京都中央区日本橋三丁目13番5号